

令和5年5月18日

大山町議会議長 米本 隆記 様

大山町議会議員 吉原 美智恵

大山町議会議員派遣報告書

1	目的	大山町における森の整備・活用を考える
2	派遣場所	島根県飯南町
3	期間	令和5年5月8日（月）
4	派遣議員	豊議員・吉原議員
5	報告	<p>【内容】</p> <p>飯南町は、平成17年に赤来町と頓原町が合併して出来た町である。林野原野率は90パーセントで、自然豊かな地域であり、人口4,529人で面積は242・84km²である。</p> <p>「森林セラピー」の取り組みを始めたきっかけは、木材価格の低迷や林業の後継者不足等により、森林に対する興味関心が低下する中、森林の環境保全は喫緊の課題であり森林の新たな産業振興として、「森林セラピー」を取り入れることとなった。</p> <p>【所感】</p> <p>飯南町の「森林セラピー」は、森林セラピーガイドによる「森林散策」と「森林安息」から成りたっており、地産地消を生かした「食事」「温泉」を組み合わせ最大限の癒し効果が生まれるプランを観光協会が提案している。そういうなかで、セラピーガイドが大きな役割を果たしており、ボランティアではなくて専門性を有したガイドの養成、認定と継続の仕組みは良く出来ており、本町でも大いに参考すべきと考える。</p> <p>また、飯南町は森林セラピー2つ星基地認定となっていて、森林浴とは違い科学的根拠に基づく維持管理が行われており、経費もさることながら、関係者の熱意と努力は必要不可欠と感じた。</p> <p>そして、森林セラピーを通じた健康づくりを医療・福祉分野と連携した動きもあり、本町でも検討課題として進めていければと考える。</p> <p>最後に、本町での取り組みはこれからの検討になると思うが、町長をはじめ行政と議会が共に視察に行くことで共通理解が深まり、具体的な話し合いが出来ることは今回の視察の大きな成果でもあったと思う。</p>